

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

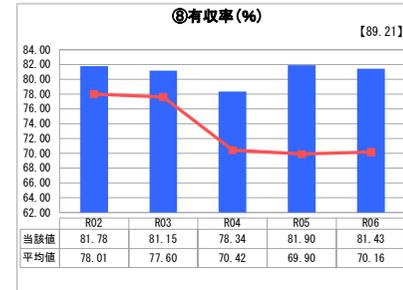
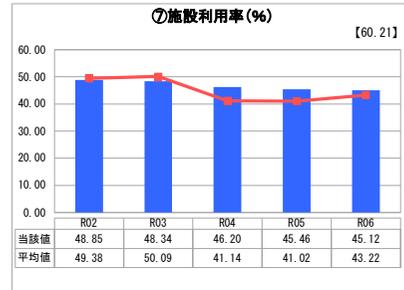
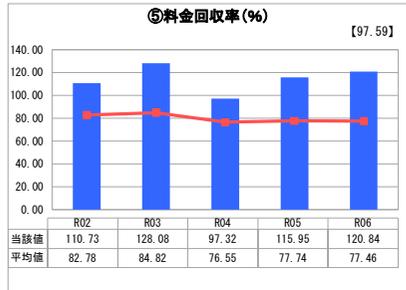
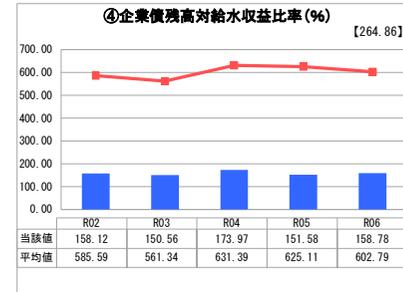
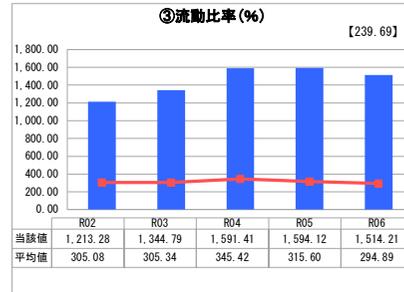
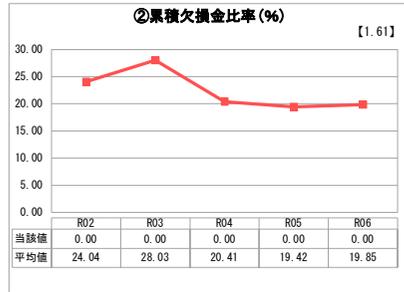
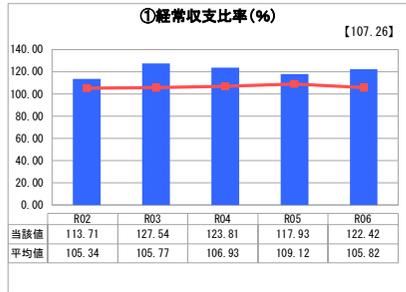
北海道 足寄町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A9	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	87.87	79.93	4,611	

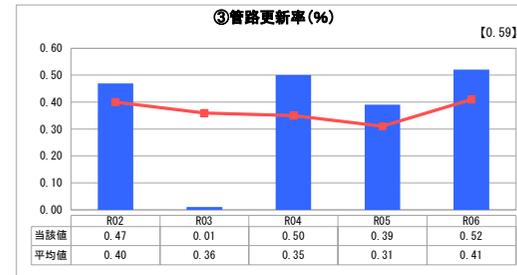
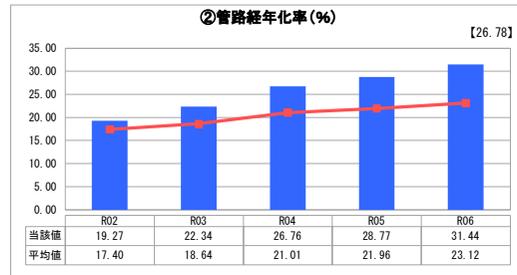
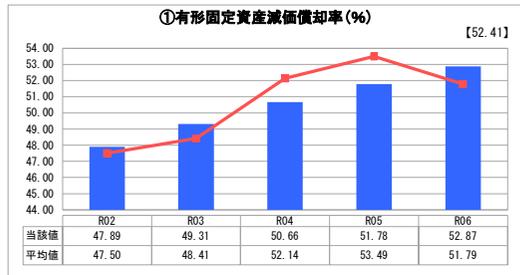
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,952	1,408.04	4.23
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,683	11.60	403.71

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、配水及び給水費の工事請負費、総経費の委託料等の減少により前年度から増加していますが、料金回収率は平均を上回っており、経営状況は良好と言えます。

流動比率は前年から減少しておりますが、平均値を大きく上回っていることから短期的支払能力に問題はなく、企業債残高対給水収益比率についても平均を大きく下回っており、償還の負担は少ない状況です。今後も、人口減少による給水収益の減少を考慮し、企業債の発行と資産残高のバランスを取りながら計画的な投資を行っていく必要があります。

給水原価は平均値を大きく下回っていますが、前年度比で経常費用が増加していることから、今後は費用の抑制に取り組みます。

施設利用率は配水量の減少により前年より減少していますが、有収率は80%以上を維持しており、今後も有収率の維持向上に努めます。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率及び管路経年率は増加傾向にあり、施設等の老朽化が進んでいます。

管路更新率は老朽化した管路から順次更新を行ってきており、今後も企業債の発行も含めて総合計画に沿った計画的な更新を進めていきます。

## 全体総括

生活支援の取り組みとして令和4年度に実施した基本料金の減免による料金回収率や有収率の低下を除けば、良好な経営状況となっています。今後は給水人口の減少、施設の老朽化に伴う投資が増えることは明白であり、計画的な投資が困難になることが予想されます。今後は現在策定中の経営戦略をもとに料金回収率の向上、経費抑制に取り組み、経営の安定と安心安全な水の供給を図っていかなくてはなりません。